

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

コミュニティ スクール

C S 通信

NO. 28

2025年1月14日

発行：布水中学校運営協議会

布水中学校 校長 若狭朋幸

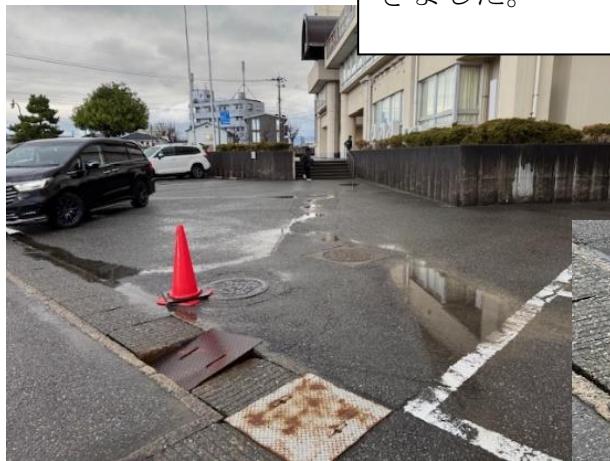
地域学校協働活動推進員 塚本茂樹

12月24日

2学期の終業式がありました。

寒気が入り寒い日となり、感染予防のためオンラインで各教室と多目的教室とを結んでの式でした。今では当たり前になってきているスタイルですが、体育館に全校生徒が集まる時代の私としてはやはり、何か物足りないような。そして、式では2学期中に行われた大会等の報告があり、多く上位入賞の生徒が登場しました。教室では、大きな拍手とともに頑張った仲間を称え、喜びにあふれていきました。校長先生が言っていた『『歓喜』あふれる学校』にするこのひとつなのかなと感じました。

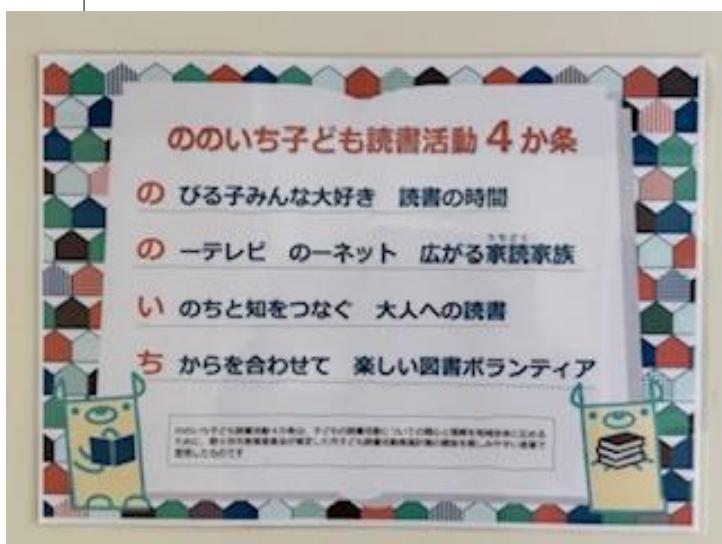
駐車場の入り口の溝蓋が車の重みでへこみ、ずれ込んで危険に感じたので、改善を求めました。今までには、校務士さんが気付いたたびに定位置に戻していましたが、学校からも市に要望を出していただき今までよりも厚みのある鉄板に交換していただきました。



1月10日

「布水だより」でも紹介されていましたが、校門付近のプランターが復活しました。お花があるだけで、何かほっとするような気がします。そして、生徒有志による花鉢ボランティア活動も行われました。校区内の高齢者宅に226鉢とメッセージカードをお届けすることが出来ました。今年初めて参加した一年生の感想や、お礼のお手紙などの紹介がなされていました。

後期生徒会役員が能登応援募金を企画し、募金活動を行いました。多くの方の善意が寄せられ、石川県庁の「能登半島地震災害義援金」窓口に届けられました。



知っていましたか？

「ののいち子ども読書活動4か条」

子どもの読書活動についての関心と理解を地域全体に広めるために、野々市市教育委員会が策定した市子ども読書活動推進計画の趣旨を親しみやすい言葉で表現したものです。

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塚本 茂樹です。

この「C S通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していくたい事、学校の取り組みや校内の様子を保護者や地域の皆様へ発信していくたいと思い。発行する情報については、学校長の許可を得て行っています。

ご意見・お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

E-Mail :

fusuuyu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp

まで、メールでお願いします。